

まち∞未来ミーティング(総合スポーツ公園) 意見記録

会 議 名	まち∞未来ミーティング（総合スポーツ公園）			
開催日時	令和 8 年 7 月 8 日(水)	9 時 30 分～11 時	開催場所	総合スポーツ公園
参 加 者	伯耆町	10 名		
	住民	4 名		
概 要	・ 町長から町政提案説明・意見交換			

(参加者意見及び町側回答)

No	参加者意見	町側回答等
介護	物忘れや「言った・言わない」といった日常的な不安について相談があった。	認知症スクリーニングは健康対策課に相談すれば登録でき、年 1 回、無料で検査を受けられることが説明された。 検査はパソコンなどを使って簡単に実施でき、結果によっては健康相談や医師の診察につなげることができる。早期発見・早期対応が重要であるため、住民健診等の機会も活用してほしい。
防災	防災行政無線の聞こえにくさや、受信機の老朽化で聞こえない時がある。	今年度は設計業務を進め、集落放送の代替手段や、公式 LINE 等との連携も含めて機器の更新を行う予定。 今後、聞こえにくい地域や家庭の状況も把握しながら、改善を進めていく必要がある。
農業	高齢化により、農作業や草刈りが難しくなっている。	熱中症対策として冷却作業服等への補助を行っていること、またラジコン草刈り機を追加整備し、分庁舎で管理する予定である。 耕作放棄地の増加や、小規模農地の維持は大きな課題であり、大型化が難しい中山間地域に合った農業支援を考える必要がある。

No	参加者意見	町側回答等
観光	岸本駅前が寂しく、町の玄関口としてももう少し魅力的にできないか。 図書館、商工会、観光案内機能などが入る複合的な施設があればよいのでは。	岸本駅の建物は町所有ではなく商工会の建物であるため、商工会の考えも必要になるとの説明。一方で、駐車場や待合スペースなど、周辺整備は一定程度進めている。 伯耆溝口駅については町所有の施設であり、今後、写真展示やワークショップなどに活用する動きがあると説明。既存施設を活用しながら、人が集まる場所にしていくことが重要だと考える。
	大原地区周辺、植田正治写真美術館、ガーデンプレイス、柗水高原など、町内には魅力ある観光資源が点在している。これらを線でつなぎ、サイクリングや観光ルートとして活用すれば、交流人口や関係人口の拡大につながるのではないかと。 また、レンタサイクルや電動アシスト自転車、充電スポットなどの可能性もあるのでは。	県や周辺自治体とも連携し、県内東西サイクリングルートだけでなく南北のサイクリングルートも検討していく。
移住	リモートワークをする上でインターネット環境が非常に重要であるとの意見があった。 一部の集合住宅では光回線を個別に引き込みにくいなどの課題があり、移住先を選ぶ際に通信環境が分かりやすく示されているとよいのでは。 また、イベント情報が見つけにくい。	町内には光回線が整備されており、今後、通信機器の更新により、通信速度が速いサービスが開始される予定であり、環境改善が進む見込みである。 町ホームページの更新や公式 LINE の導入など、今後は情報を受け取りやすい環境を整備する予定。
地域への愛着	伯耆町には自然や観光資源などの魅力がある一方で、地元住民と移住者、また地域内の人同士が十分につながっていないように感じる。 また、地域への愛着や誇りをどのように育てるかが重要なテーマだと感じる。	子どもたちへのアンケートでは、伯耆町の良いところとして「自然が豊か」という回答だけでなく、「人が優しい」という回答も多かった。 物や施設だけでなく、人と人とのつながりを大切にするまちづくりが、地域への誇りにつながるのではないかと。

No	参加者意見	町側回答等
	集落では、春の行事や夏の行事など、子どもから高齢者まで参加する地域イベントが長年続いている。 こうした行事は、地域のつながりを維持する上で大きな役割を果たしている。 一方で、今後は 40 代・50 代の担い手が減少し、10 年後の地域運営に不安がある	地域行事の中身を見直しながらも、子どもたちが地域に愛着を持てる機会として継続していくことが重要だと考える。
少子化・子育て環境	保育所や学校で子どもの数が減っていることへの寂しさや危機感が共有された。 保育所では、七夕用の竹の本数が減ったという具体的な話からも、少子化が身近に感じられる。 学校部活動の地域移行により、家庭の経済状況によって子どもがスポーツに参加しにくくなる可能性がある。	子どもが安心してスポーツや地域活動に参加できる環境づくりを進めていく必要がある。